

平成 28 年度 県立中央高等学校学校関係者評価表

評 価 項 目	評 価	評 価 者 か ら の 意 見 等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	A 妥当である（4 名） B おおむね妥当である(1 名) C あまり妥当でない D 妥当でない	・課題が改善され目標が徐々に達成の途にあることをうれしく思います。特に生徒指導では生徒たちの登下校の様子を毎日見させていただいております。交通ルールを守り服装の乱れもないことに取組の素晴らしさを感じております。 ・4 項目中 3 項目が「B:達成できている」であるが「A:十分達成できている」に限りなく近い「B」評価であると判断され自己評価は妥当である。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	A 妥当である（4 名） B おおむね妥当である(1 名) C あまり妥当でない D 妥当でない	・具体的目標，施策の設定のあり方が学校の課題に即しており，とても明確な内容になっていると感じます。そのため改善に向けてのアプローチが容易になり確かな成果となって表れているように思います。 ・具体的目標を達成するための具体的方策が明確になっており各項目に適切に自己評価されている。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	A 十分把握している（4 名） B おおむね把握している(1 名) C あまり把握していない D 把握していない	・十分把握しているように思います。家庭学習の定着や各教科の評価の工夫改善に課題が残っているように感じました。評価に関してはシラバスを今後有効に活用することによって改善が図れることと期待しております。 ・格段に内容が分かりやすくなっている。先生方のご努力の様子が伺えるばかりでなく次年度へ向けての方向性も明確に示されている。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	A 適切である（4 名） B おおむね適切である(1 名) C あまり適切でない D 適切でない	・今年度の成果と課題を踏まえて適切な改善策を講じようとしていると感じました。 ・各教科，各委員会等のセクションを横軸に学年のセクションを縦軸にして記述項目を見ていくと全体像がより把握できるようになると思われる。 ・評価の工夫と改善が不明確である。

5. その他（各学校の状況に応じて設定） ※ 何かお気付きの点があれば，ご記入下さい。		・先生方が生徒一人ひとりや保護者，地域と真剣に向き合っている様子が感じ取れました。これが評価の一手段となり今年度の目標の達成状況をより明確に把握するのに有効に機能しているように思いました。その取組は大変でしようが継続をお願いします。 ・自己点検，自己評価活動が学校改善に生かされている様子を読み取ることができた。 ・学習面や生活面等において先生方が努力されている様子を拝見していく中，その取組の重要性を保護者や生徒たちに感じてもらい実践に移してもらえれば進学率向上にも結果が出るかと思う。 ・中央高校生と小美玉市四季文化館みの〜れとの連携事業「おもてなし研修」が地域住民に好評であり継続していきたい。
---	--	---

※ 「学校関係者評価」は，学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは，各学校の生徒の保護者や，各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし，学校評議員も評価者に含まれます。